D4K3560

セットアップ ガイド

020-101166-05

CHRISTIE®

告知

著作権及び商標

Copyright ©2015 Christie Digital Systems USA Inc. 複製・転載禁止。
ブランド名、製品名はすべて各所有者の商標、登録商標、または商標名です。

一般的事項

本書ではできる限り正確性を期すように心がけていますが、製品や利用性への変更内容が本書に反映されない場合があります。Christie は予告なく仕様を変更する権利を留保します。性能仕様は典型的な数値を示しますが、適切な作業条件における製品のメンテナンス等、Christie が関与できない条件により変動する場合があります。性能仕様は、印刷時の情報に基づいたものです。Christie は特定目的への適合性の暗示保証（これに限定されない）を含め、本書に関する保証を一切しておりません。Christie は、ここに記載された誤り、または本機の性能もしくは使用に関連して偶発的または間接的に発生した損害については責任を負いません。カナダ製造施設は ISO 9001 及び 14001 の認定を受けています。

保証

この製品は、Christie の標準限定保証の対象です。本保証の詳細は、Christie または担当販売店にお問い合わせください。Christie の限定的保証に指定されないその他の制限に加え、次のものは保証対象外となります。

a. 納品、返送を問わず、輸送中に生じた問題または損傷。
b. プロジェクターランプ（Christie の個別ランププログラム方針を参照）。
c. 推奨する寿命を超えたプロジェクターランプの使用による問題や損害、または Christie 社、または Christie ランプの認定販売店以外の供給するランプを使用したことによる損害。
d. Christie 社以外の製品（配電システム、カメラ、DVD プレイヤー等）を組み合わせて使用したことが原因の、または Christie 社以外のインターフェイス機器を使用したことが原因の問題または損傷。
e. インターネットで Christie ランプ、交換部品、またはコンポーネントを提供する販売店を含む（ただしこれらに限定されない）Christie ランプ、交換部品、コンポーネントの認定販売店以外から購入または取得したランプ、交換部品、またはコンポーネントの使用に起因する問題または損傷（認定販売店は、Christie から確認できます）。
f. 誤用、不適切な電源、事故、火災、洪水、雷、地震、またはその他の自然災害による問題または損傷。
g. Christie のサービス担当者または Christie が認定した修理サービス提供者以外の者が行った不適切な設置 / 配置調整、または機器の改良による問題または損傷。
h. このような製品の使用について Christie が設計、修正、または承認していない、モーションプラットフォームまたはその他の可動式装置で製品を使用したことに起因する問題または損傷。
i. プロジェクターに関係のないオイルベースの煙霧機やレーザーベースの照明が存在のする下での、プロジェクターの使用が原因の問題または損傷。
j. LCD プロジェクターについて、本保証で定める保証期間は、「通常の使用」の範囲内の LCD プロジェクターだけに適用されます。「通常の使用」とは、LCD プロジェクターの使用を 1 日 8 時間以内、1 週間に 5 日間までとすることです。
k. 製品が屋外使用向けに設計されている場合以外で、以下の条件外での製品の屋外使用が原因で生じた問題または損傷。このような製品が降雨やその他の悪天候、または悪環境条件から保護されており、周囲の温度がその製品の仕様に規定された範囲内であり、また、製品が LCD フラット パネルであり、その LCD フラット パネルが直射日光にさらされていない場合。
l. LCD フラットパネルでの画像保持。
m. 製品の通常の使用による消耗やその他の通常の経年劣化が原因の欠陥。

シリアル番号が削除、または隠された製品は、本保証の対象となりません。米国外の再販売業者の所在する国で、再販売業者によってエンドユーザーへ販売された製品。ただし、(i) エンドユーザーが所在する国に Christie の事務所がある場合、または (ii) 必要な国際保証料が支払われた場合を除く。

この保証は、Christie が製品の設置場所における現地の保証サービスを提供することを義務付けるものではありません。

予防メンテナンス

予防メンテナンスは、お持ちの製品を継続して正しくお使い頂くために重要な作業です。個別のメンテナンス事項については、メンテナンスセクションを参照してください。Christie が指定するメンテナンススケジュールに従って必要なメンテナンスを行わない場合、保証が無効となります。

規制条項

本製品は FCC 規則の第 15 部に従って試験済みであり、クラス A デジタル機器の規定を遵守しています。これらの規制は、製品を商業環境で使用した際に発生する有害な干渉から適切な保護を提供することを目的としています。本製品は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射し、取り扱い説明書どおりに取り付け及び使用しない場合、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。住宅地において本製品を使用した場合、有害な干渉が生じる可能性があり、その場合ユーザーは自身の費用において干渉を修正する必要があります。

CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)

이 기기는 업무용 (A 급) 으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며 , 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다 .

環境条件

本製品は、リサイクル及び再使用可能な高品質原料やコンポーネントを使用して設計、製造されています。この記号 が付いている電気・電子機器は、通常の処理とは異なる方法で廃棄してください。本製品は各地域の規制に従って適切に処分してください。EU では、使用済み電気・電子製品に分別収集が採用されています。私たちが生活する環境の保護活動にご参加ください！

目次

はじめに 6
安全および警告ガイドライン 6
設置安全および警告ガイドライン 7
AC/ 電源の注意事項 7
ランプに関する注意事項 8
製品の安全性ラベル 9
設置およびセットアップ 11
使用場所要求事項 11
物理的運用環境 11
外部排気ダクト 11
電源接続 11
設置に必要な工具類 12
プロジェクターコンポーネント 12
ランプ電源コンポーネント 14
プロジェクターの位置 15
ランプ電源のラック台への設置 15
ランプ電源の接続 17
200 VAC での使用のためにバラスト設定を行う 20
400 VAC での使用のためにバラスト設定を行う 20
プロジェクトの傾斜および水平化の調整 22
調整脚延長棒の設置 22
タッチパネル コントローラを取り付ける 23
プロジェクターシュラウドの取り外し 24
レンズの設定 25
ランプの設定 26
タッチ パネル コントローラ 26
デバイスの接続 27
入力ビデオマッピング 27
4 ポート :3GIC、TDPIC、THIC カード 27
4 ポート :DDIC カード 28
2 ポート :TDPIC カード 29
2 ポート :DDIC カード 29
DisplayPort を介したビデオ ソースの接続 29
3G 入力カードを使用するビデオソースの接続 30

HDMI を介したビデオ ソースの接続 30
DVI を介したビデオ ソースの接続 31
単一ソースの選択 31
コンピューターまたはサーバーの接続 32
イーサネットの設定 32
D4K3560 信号接続 33

操作 34

プロジェクター LED ステータス インジケータ 34
プロジェクターをオンにする 34
電源投入時に予想される LED の動作 35
プロジェクターをオフにする 35

はじめに

本マニュアルは、Christie 高輝度プロジェクション システムを操作する専門的な訓練を受けたオペレータを対象とします。これらオペレータはランプ及びエアフィルターの交換を行う事が出来ますが、プロジェクターの設置や整備を行ってはなりません。

プロジェクターを組み立て、取り付け、修理サービスする権限は、高電圧、紫外線暴露、およびプロジェクターランプから発生する高温に関連する危険性に精通し、資格の有る Christie 技術者のみに与えられています。

詳細な取り付け、操作、メンテナンス、トラブルシューティングについての情報は、*D4K3560 ユーザー マニュアル (P/N:020-101075-XX)* を参照してください。D4K3560 製品に関する完全なドキュメントやテクニカルサポートについては、*www.christiedigital.com* にアクセスしてください。

安全および警告ガイドライン

本プロジェクターは、動作範囲仕様を満足させる環境において操作しなければなりません。Christie が推奨するアタッチメントおよび / あるいはアクセサリのみを使用してください。他の部品の使用は、火災、感電、または負傷の原因となります。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 絶対にプロジェクターのレンズを直接のぞき込んだり、ランプを直視したりしないでください。極めて高い輝度は、目を恒久に損傷する可能性があります。紫外線から保護するために、運転中はすべてのプロジェクター筐体に損傷がないように保ってください。メンテナンスを行う場合は、安全装置および安全ゴーグルの着用を推奨します。
- 火災の危険性があります！両手、衣服、およびあらゆる可燃物は、ランプの集光ビームから距離をとってください。

注意！以下の指示に従わない場合、軽度または中程度のに至る場合があります。

- すべてのケーブルは高温の表面に接触したり、引っ張られたり、つまずいたりすることのない場所に配置してください。
- 米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) では、職業上の紫外線被爆を 1 日 8 時間以内、1 平方センチメートルあたり 0.1 マイクロワットを超えない実効紫外線放射量にすることを推奨しています。従業員が使用エリアに対する政府ガイドラインを越える累積放射線レベルに暴露されていないことを保証するために、職場の評価を行うことが勧告されています。紫外線への感受性を亢進することが知られている医薬品にご注意ください。

注：保守および清掃を行う際は、ユニットは停止させるように指示されています。よって、ランプは動作しておらず、放射も行われていない状態となります。光学調整は、メンテナンス不要です。光学調整中はランプがオンであり、放射があります。

設置安全および警告ガイドライン

危険！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 本製品は、工学制御または行政管理により、作業員、付近への訪問者や住人などを含む特定の安全訓練を受けていない一般の人々が通常は近づけないような立入が制限された場所に設置する必要があります。立ち入ることができるのは、許可を受けた技術者のみです。
- 本製品は、視聴者が直接接近して、光線経路に進入することのないような方法で、設置する必要があります。
- プロジェクターを頭上に設置しないでください。
- プロジェクターを縦置きで設置する場合は、プロジェクターを保持するデバイスの定格重量が、プロジェクターの重量に対して十分であることを確認してください。プロジェクターの重量は、約 125kg (275 lbs) です。
- プロジェクターは高圧ランプを使用しており、取り扱いを誤ると破裂する恐れがあります。ランプ ドアが開いている、あるいはランプを取り扱う場合には、常に製造元で認定された保護安全装具（手袋、ジャケット、フェース シールド）を着用してください。これを遵守しないと、重大な傷害が発生することがあります。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 設置のすべては、有資格の技術者が行う必要があります。
- 感電の危険性があります。本プロジェクターのそのすべてのカバーが正しい位置に装着されていない場合は決して操作を行わないでください。
- プロジェクターが傾かないように、**必ず**リア セーフティ ストラップでプロジェクターを固定してください。プロジェクターは、他の取り付け面にストラップで固定します。
- 短い距離であっても、プロジェクション ヘッドを安全に持ち上げて運ぶためには 4 人以上が必要です。Christie では、本プロジェクターの輸送に先立ち、ランプは取りはずしておくよう奨励しています。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

- ランプを動かしたり、平らにしたり、プロジェクターに新しいランプを設置したりする場合は、LampLOC 自動調整を実行してください。
- プロジェクターを持ち上げるときや運ぶときは、プロジェクターを水平に保ってください。プロジェクターを右側に傾ける事を避けて下さい。傾けると冷却ホースに気泡ができ、結果としてエア・ロックを引き起こしプロジェクターがオーバーヒートします。

AC/ 電源の注意事項

正しくプロジェクターを設置するには、資格を持った電気技術者がランプ電源 (LPS) に永続的な三相端子接続を行う必要があります。LPS プロジェクターのアウトレットを使って、プロジェクターヘッドに電源供給を行うことができます。プロジェクターは推奨電圧で使用して下さい。

危険！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

筐体を開く場合は、事前に AC 電源ケーブルをプロジェクターから抜いてください。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- プロジェクターに、現地の定格規格に適合した、ラインコード、ソケットおよび電源プラグが使用されていることを確認してください。Christie が推奨する AC 電源コードのみを使用してください。AC 電源とコードが指定された電圧および電力範囲にない場合は、操作を試みないでください。
- 電源コードの上には何も載せ**ない**でください。プロジェクターは、コードが歩く人や転がってくる物の邪魔にならない場所に配置してください。電源ケーブルが何らかの損傷を受けていると思われる場合は、プロジェクターを絶対に操作しないでください。
- 火災や感電の危険を招く恐れがあるため、電源コンセントや延長コードは過負荷状態にし**ない**でください。

ランプに関する注意事項

プロジェクターに使用されているランプは高圧力にさらされているので、取扱は注意してください。ランプは落としたり間違った取扱をする事で、爆発し重症を負おう可能性がございます。

危険！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- ランプがオンになっている状態では、絶対にランプコンパートメントに触れないでください。電源を切り、AC から切り離し、ランプドアを開く前に、ランプをオフにした後で少なくとも 10 分間は待機してください。
- アーク ランプは、温度とともに上昇する高い圧力で点灯しています。取り扱う前にランプを十分に冷却しない場合は爆発の可能性が高くなり、人身傷害及びまたは物的損害の原因となります。
- ランプ ドアが開いている、あるいはランプを取り扱う場合には、常に製造元で認定された保護安全装具（手袋、ジャケット、フェース シールド）を着用してください。認められた技術士のみがプロジェクターのランプを設置することができます。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 本製品からは危険を引き起こす可能性のある光学的放射が発せられます。（リスクグループ 3）
- 本製品から発せられる熱放射により、火傷する可能性があります。（リスクグループ 3）

推奨保護服は、ポリカーボネート・フェイス・シールド、保護手袋、キルテッド・バリスティック・ナイロン・ジャケットまたは溶接作業者用ジャケットなどですが、これらに限定されるものではありません。この装備は Christie 防護服安全キット
P/N:598900-095 に含まれています。

Christie による保護服の推奨内容は、変更される可能性があります。地域または連邦政府によるすべての規定は、Christie の推奨内容よりも優先されます。

製品の安全性ラベル

接地点が存在することを示しています。

接地点が存在することを示しています。

危険な状態または状況の存在を示しています。

挟みこまれる危険が存在することを示しています。けがしないようにするために、手を近付けないようにし、衣服にもたるみがないようにしてください。

熱い表面が存在することを示しています。けがしないようにするために、メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、最低でも 10 分間プロジェクターを冷却してしてください。

熱い表面が存在することを示しています。けがしないようにするために、メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、最低でも 10 分間プロジェクターを冷却してしてください。

感電する危険が存在することを示しています。けがしないようにするするために、メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、すべての電源装置をコンセントから外してください。

感電する危険が存在することを示しています。けがしないようにするするために、メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、すべての電源装置をコンセントから外してください。

動作するファンブレードが存在することを示しています。けがしないようにするために、手を近付けないようにし、衣服にもたるみがないようにしてください。メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、すべての電源装置をコンセントから外してください。

明るい光への暴露を示しています。人体への負傷を防ぐため、光源を直接見ないでください。

爆発する危険が存在することを示しています。けがしないようにするするために、すべての電源装置をコンセントから外し、認可された Christie 保護服を着用してください。

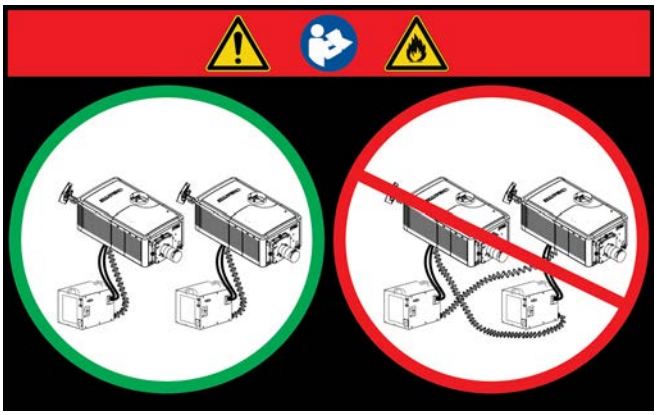
火災の危険が存在することを示しています。けがをしたり物的損害を被ったりしないようにするために、本マニュアルに記されている指示に必ず従ってください。

メンテナンス・サービスの手順を実行する前に、すべての電源装置をコンセントから外してください。

特定の情報および指示に関しては、製品のユーザーズマニュアルを参照してください。

特定の情報および指示に関しては、製品のサービスマニュアルを参照してください。

決してプロジェクター レンズを直接目視しないこと。極めて高い輝度は、目を恒久に損傷する可能性があります。



このラベルは、一度に複数のプロジェクターを設置する際の交差接続に関する危険を警告するものです。ランプ電源のインターロックケーブルがランプ電源ケーブル以外の異なるプロジェクターに接続されている場合、火災になる危険があります。

詳細は、*設置およびセットアップ*の章の*プロジェクトの傾斜および水平化の調整*を参照してください。

設置およびセットアップ

本セクションはプロジェクターの設置、接続および最適化の方法を説明します。

使用場所要求事項

安全にプロジェクターを設置し運用するには、設置場所へのアクセスを制限し、設置場所に関する以下の最低条件を満たす必要があります。

物理的運用環境

- 最高周囲温度（運用中）35°C（95°F）
- 最低周囲温度（運用中）10 ℃（50°F）

外部排気ダクト

設置現場は、本プロジェクター・キセノン・アーク・ランプの適切な冷却確保のために、周囲温度 25 ℃（77°F）以下、および標高 3,000 フィート (914.4m) 未満において、最低 450CFM(ft3/min) の外部排気流量を提供しなければなりません。25 ℃または 3,000 フィートを越える場合には、600CFM が必要となります。を参照してください。

電源接続

以下の必要条件は永続的な有線設置または電源コード接続に適用されます。

- 単相 15A IEC320C14 (プロジェクターヘッドへのランプ電源)
- 端末ブロック、プロジェクターヘッド への配線接続。

  三相、38A 200-230VAC + アース (北米および日本)

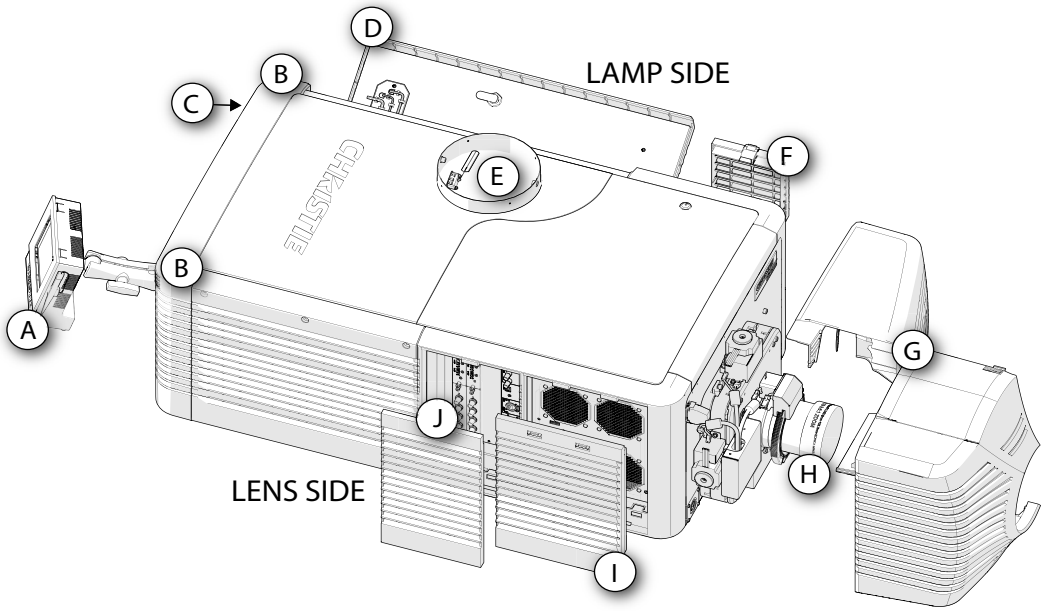
  または

  3 相、26A 380-415VAC + ニュートラル + アース（北米および日本以外の地域）
- この製品は IT 配電システムに接続することができます。

設置に必要な工具類

- 12 インチ ドライバー：プラス #2（磁石）およびマイナス
- 19 mm および 7/8 インチ レンチ
- アレン ® キー（メートル法）一式
- ランプを取扱う場合は、Christie によって認可された安全防護服
- レンズのクリーニング ティッシュと溶液

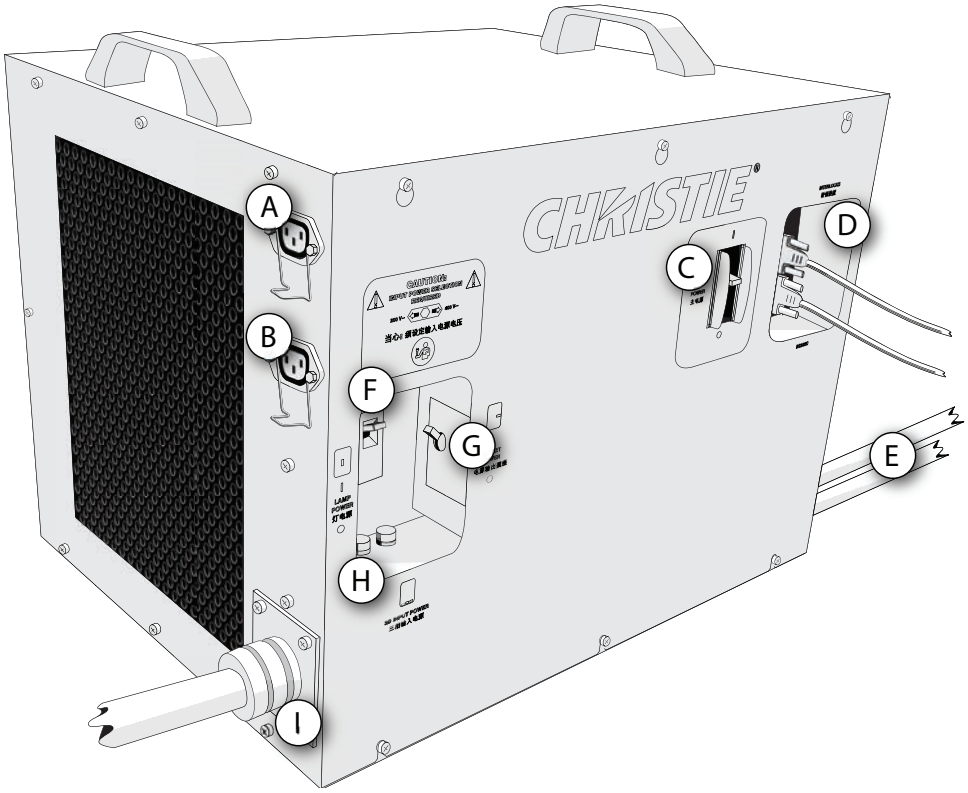
プロジェクターコンポーネント



ID		説明
A	タッチパネルコントローラー (TPC)	タッチ センサー スクリーンで、プロジェクターの制御およびモニター操作に使用されます。
B	LED ステータスインジケータ	LED の色および点滅（プロジェクターの後部の両コーナーにあります）により、プロジェクターの状態に関する情報が提供されます。プロジェクターの状態およびステータスに関する詳細は、34 ページの *プロジェクター LED ステータス インジケータ*を参照してください。
C	手動無効設定	遮光板を閉じるとランプ前のシャッター ブレードが回転し、ランプ出力を 2.0 kW に低減してランプの寿命を節約します。無効設定は、緊急時使用のみを目的としています。

ID		説明
D	ランプ ドアおよびランプ	ランプドアからランプ コンパートメントにアクセスできます。通常の使用では、ランプドアは開けたままにせず、ロックしておいてください。ランプの交換は資格を持った技術者のみが行ってください。使用可能なランプタイプのリストは、*D4K3560 ユーザーマニュアル（P/N:020-101075-XX）* を参照してください 。
E	排気ダクトとベーン スイッチ	ランプコンパートメントから熱せられた空気を取除きます。固定端子の中に取り付けられたベーン スイッチによって、空気の流れが監視されています。11 ページの *使用場所要求事項*を参照してください。
F	液体冷却エア フィルター カバー及びエア フィルター	循環させて熱交換器の冷却させる前に、空気をフィルターします。
G	シュラウド (ツーピース)	電動レンズ固定アセンブリを覆います。
H	プロジェクション レンズ	各種プロジェクションレンズをプロジェクターで使用することができます。使用可能なレンズのリストは、*D4K3560 ユーザーマニュアル（P/N:020-101075-XX）* を参照してください 。
I	エアフィルター カバーおよびエアフィルター	吸気をろ過してから空気をフロント コンパートメントに循環させ、主な電子部を冷却します。
J	入力パネル フェースプレート	外部デバイスの接続用の様々なポートを提供します。デバイスおよび入力の接続に関する詳細は、27 ページの *デバイスの接続*を参照してください。

ランプ電源コンポーネント

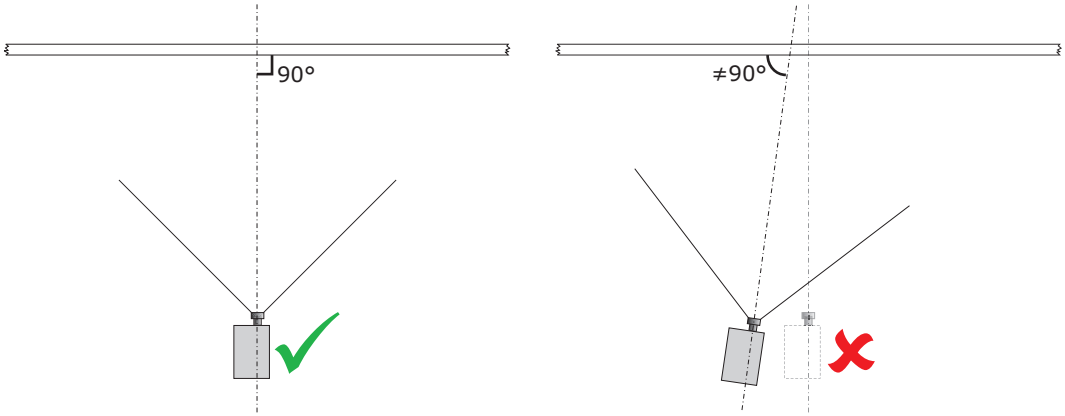


ID	アイテム	説明
A	換気ファン AC 電源コンセント	認可された換気ファン ユニットの電源他の機器への電力供給用としてはこのコンセントを使用しないでください。
B	プロジェクター AC 電源コンセント	プロジェクター ヘッドの電源を入れます。他の機器への電力供給用としてはこのコンセントを使用しないでください。
C	メイン LPS ブレーカー	電源スイッチの機能を持ち、50A 以上の過電流状態からランプ電源 (LPS) を保護します。
D	プロジェクター インターロックおよび通信接続	プロジェクターおよび LPS 間で通信が行えるようにします。
E	DC ランプ電源ケーブル	LPS からプロジェクター ランプへ電源を提供します。
F	ランプ ブレーカー	電源スイッチの機能を持ち、50A 以上の過電流状態から LPS を保護します。
G	コンセント ブレーカー	電源スイッチの機能を持ち、15A 以上の過電流状態から換気ファンやプロジェクターの電子部品を保護します。
H	電源フェーズ インジケータ ライト	電源の 3 つのフェーズを示します。
I	LPS 電源差込口	LPS へ電源を供給します。この接続は、地元の規定に従って専門の技師が配線を行う必要があります。

プロジェクターの位置

スクリーンの中央よりかなり上方である場合においても、プロジェクターレンズを可能な限りスクリーンと垂直にして下さい。特に短い投射距離と幅広スクリーンが組み合わさった場合には、照準を多少犠牲にしてスクリーンとの平行性をより保つようにしなければならない場合があります。このような場合、一部のレンズではキーストーンの歪みを減らすことが可能です。

1. 適切な投影距離（プロジェクターからスクリーンまでの距離）および垂直位置でプロジェクターを配置します。可能であれば、プロジェクターをスクリーンの中央に合わせます。場所に余裕が無い場合、プロジェクターの照射をわずかに中央からずらして下さい。これにより側部でのキーストーンは増加しますが、必要とされる垂直方向のレンズオフセットは減少します。

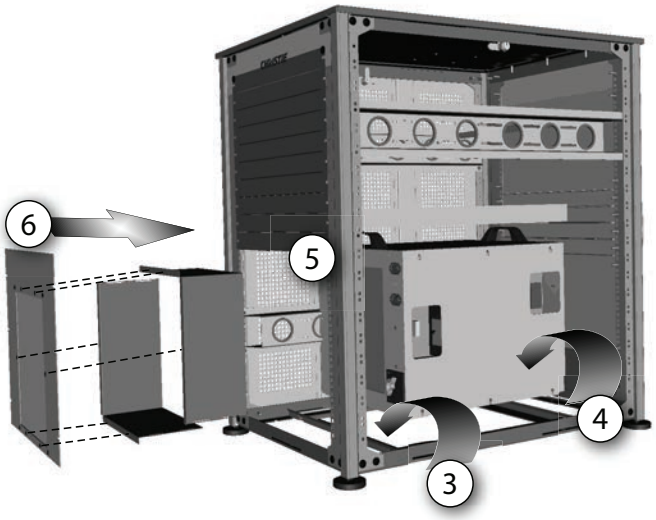


2. 各ケーブルがプロジェクターのレンズ側まで届くようにランプ電源 (LPS) を配置します。
3. オプションのラックスタンド (P/N:108-282101-02) を利用する場合は、ラックスタンドに同梱されている取扱説明書を参考にラックスタンドを組み立てて下さい。ラックスタンドにプロジェクターを固定する時は、ホールドダウンクランプ (P/N:116-100101-01) を使用してください。

ランプ電源のラック台への設置

1. ラック台の右側（操作者側）パネルを取除いてください。
2. クロス バーを取り外します。
3. ランプ電源（LPS）補助をラック台に挿入し、穴にピンを合わせてください。
4. LPS を持ち上げてフレーム内に入れます。
5. ラック台の背面にある下方の 10 パネルを取り除いて下さい。

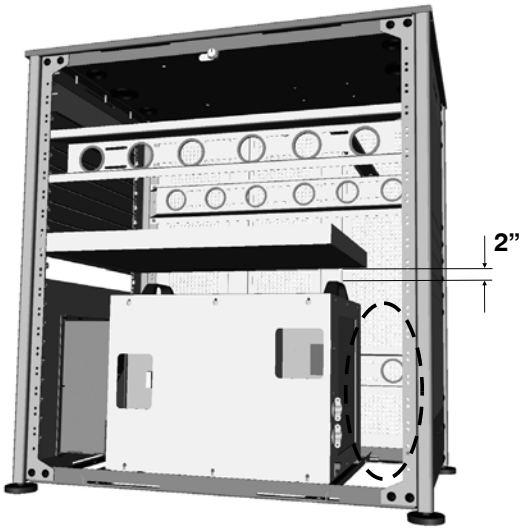
6. 3 個のエアダクト部品を組み立てます (LPS に同梱されています)。最初に 2 個の 「L」形の部品を互いに止め合わせてから、3 個目の部品 (平らなパネル) を 6 個のスタンド アウト ピンで留め合わせます。



7. LPS の直接後ろにエアフローダクトを設置してください。

エアフローの循環を妨げるいかなるコンポーネントも本ランプ電源の前に取り付けないこと。

8. 外側からラック台へエアフロー ダクトを挿入します。
9. ラック台パネルからのねじを使用して、エアフロー ダクトをラック台に固定します。
10. 他のコンポーネントをラック スタンド内に取り付ける場合には、サービスが簡単に行えるように、LPS ハンドル上から少なくとも 5 cm (2 インチ) の隙間ができるようにすること。



11. ラック スタンド内のすべてのコンポーネントの結線を行い、サイド パネルを元に戻します。

ランプ電源の接続

危険！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

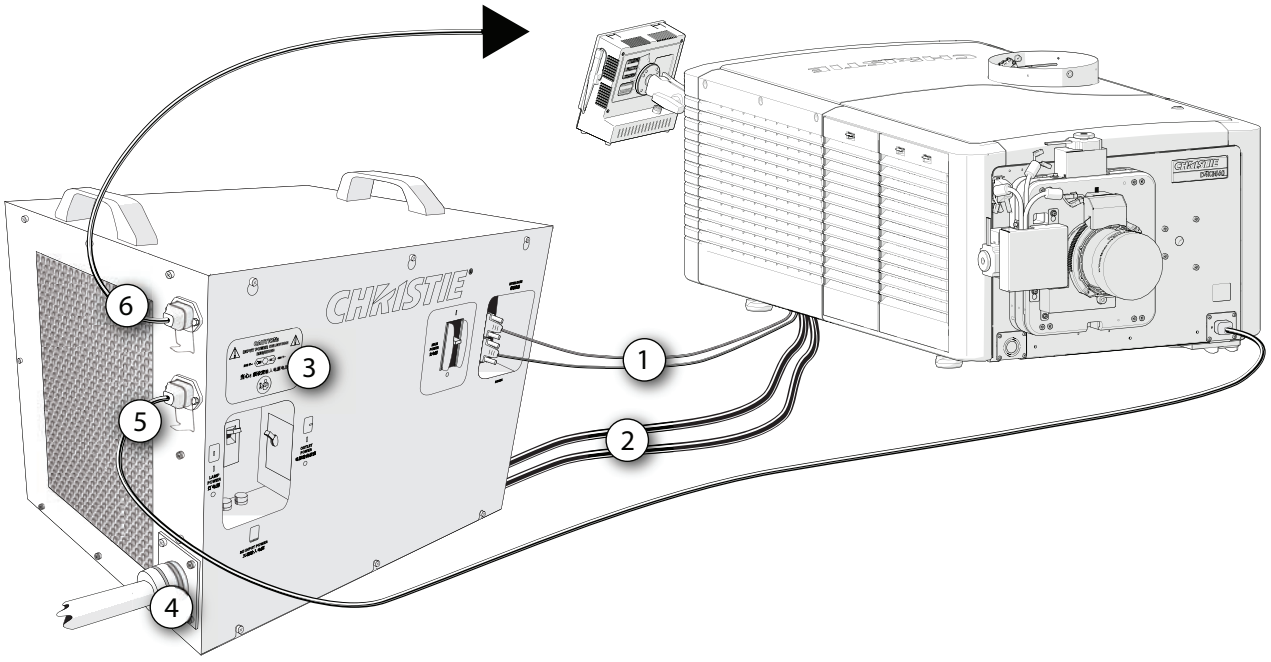
複数のプロジェクターを取り付ける場合、プロジェクターヘッドとランプ電源 (LPS) の間で、高電流 DC ケーブルとインターロック / 制御ケーブルが誤って交差接続された場合、**火災**の危険があります。

プロジェクター・ランプ電源間で交差接続されないようにするために、各プロジェクターにつきこの手順をすべて実行し、その後次のプロジェクターにとりかかるようにします。複数のプロジェクターおよびランプ電源を同時に接続しないようにしてください。

初めてプロジェクターの電源を入れる際には、高電流の DC リード線とインターロック / 制御ケーブルが LPS とプロジェクターとの間で正しく接続されていることを確認してください。この指示に従わない場合、火災が発生する危険があります。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 設置は、有資格の電気技師が行う必要があります。安全のため、接地（アース）接続が必要です。アースを怠ると、安全性の問題が生じます。感電事故予防のために先にアースを接続すること。
- AC 電源ケーブルが LPS のノックアウトプレートと擦れて摩耗しないように、適切なストレインリリーフコネクタを使用ください。



1. 電源が、ランプ電源 (LPS) から抜いてあることを確認します。
2. レンズ側のリアカバーを取り外すには、3 つのネジを緩めてください。
3. LPS 通信ケーブルの接続：
    a. LPS の **RS232** と書かれた下部のポートに RS232 ケーブルの片方を接続してください。

b. LPS の **Interlock（インターロック）**と書かれた上部のポートにインターロックケーブルの片方を接続してください。

c. ケーブルのプロジェクター側の端をプロジェクターシャーシの下側にある **RS232** と書かれたポートに接続します。

d. インターロックケーブルのプロジェクター側の端をプロジェクターシャーシの下側にある **Interlock（インターロック）**と書かれたポートに接続します。

4. LPS ランプリード線の接続：

a. LPS カバー内の上部ストレインリリーフを経由して正極 (+) 線を引き回します。

b. LPS カバー内の下部ストレインリリーフを経由して負極 (-) 線を引き回します。

c. LPS の端子にランプの正極 (+) 及び負極 (-) リード線を接続して下さい。

d. ストレインリリーフを締め付けます。

e. スプリングプランジャを引いて、イグナイタードアを開きます。ドアを持ち上げて蝶番から離し、完全に取り除くことも可能です。

f. 正極 (+) および負極 (-) リード線を、プロジェクターベースプレート内の 2 個のストレインリリーフを経由して LPS から引き出します。

g. 負極 (-) の黒色ランプリード線を、負極 (-) イグナイター端子、左側端子に接続します。正極 (+) の赤色ランプリード線を、正極 (+) イグナイター端子、右側端子に接続します。

注意！以下の指示に従わない場合、軽度または中程度のに至る場合があります。

高電流ランプリード線を LPS とイグナイターの間に接続する際、黒い (-) 電源ケーブル (陰極）をワッシャにしっかりと固定し、正しくワッシャをロックし、両側で 175 インチポンド、14 フィートポンドまたは 20Nm まで締付けてください。

h. ストレインリリーフを締め付けます。

i. イグナイタードアを元に戻します。

j. レンズ側のリアカバーを再度取り付けます。

5. 電源で AC 電源がオフであることを確認し、ご使用の地域に従って、LPS AC 入力ターミナルブロックに AC 電源を直接接続します。

注意！以下の指示に従わない場合、軽度または中程度のに至る場合があります。

周囲を適切にシーリングおよびケーブルを偶発的な事故で裂傷から保護するために、ノックアウトプレートには、適切なサイズのストレインリリーフコネクタを使用してください。

- 北米、日本、韓国および中 / 南米 (200 ～ 230 VAC)：

  供給電線の相は、1 相線、2 相線、3 相線および接地線です

- 欧州及び中国 (380 ～ 415 VAC)：

  供給電線の相は、1 相線、2 相線、3 相線、中性線、および接地線です

a. LPS 側面パネルを取り外すには 6 本のネジを緩めて下さい。

b. LPS の左上の角にある AC 入力電圧スイッチを左に動かします。200 VAC の電源を使用している場合は 20 ページの *200 VAC での使用のためにバラスト設定を行う*を参照してください。400 VAC の電源を使用している場合は右に動かし、20 ページの *400 VAC での使用のためにバラスト設定を行う* . を参照してください。

c. LPS 側面パネルを 6 本のねじを使って固定して取り付けます。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。
内部入力電圧スイッチ設定は、使用場所で利用可能な AC 電源に適合している必要があります。

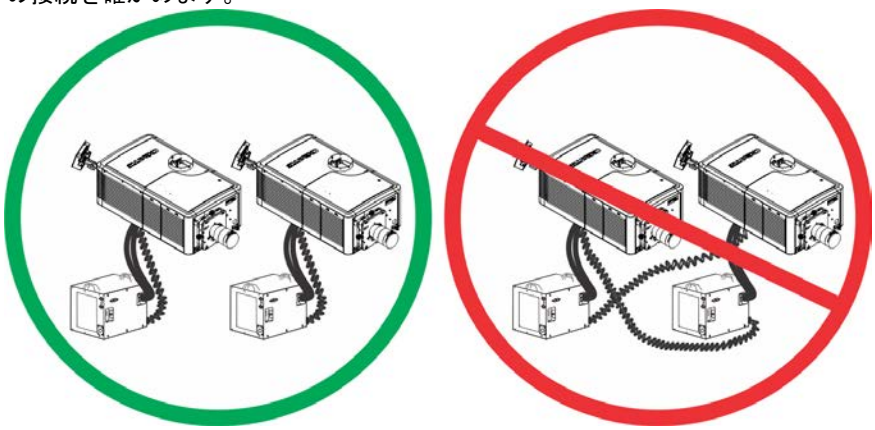
6. ラインコードの一端を **Projector ONLY（プロジェクターのみ）**と書かれた LPS 電源コネクタに接続します。

   より長い DC ケーブルキットを使用する場合は、地域に対して提供されている Christie 推奨のラインコードを使って、プロジェクターヘッドの電源を個別に入れる必要があります。

7. プロジェクターのラインコードのもう一方を、プロジェクターのフロントベゼルの下部ランプ側にあるプラグに接続します。

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。
建物の電力ソースからプロジェクター電源へ直接電力を供給し**ない**でください。この電源コネクタを使用してプロジェクターおよび排気ユニットに電源を供給する場合は、200VAC ～ 240 VAC 出力が確保できるよう、この電源コネクタのターミナルブロックを正しく終端処理する必要があります。これらのコネクタは電源コネクタブレーカで制御されています。詳細は、ご使用のプロジェクター付属の相互接続図を参照してください。

8. Christie 換気ユニットを使用する場合は、ラインコードを **Extractor ONLY（換気ユニットのみ）**と書かれた LPS コネクタに接続します。
9. LPS に接続されたケーブルすべてが同じプロジェクターに接続されていることを確認し、LPS のプロジェクターへの接続を確かめます。

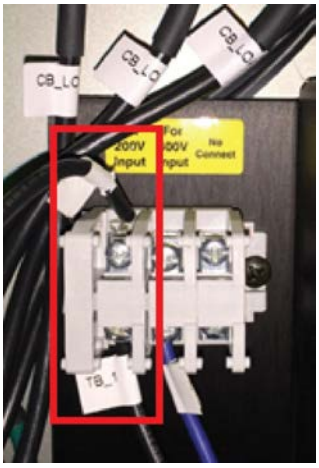


危険！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。
複数のプロジェクターを設置する場合、プロジェクターヘッドとランプ電源 (LPS) の間で高電流 DC ケーブルとインターロック / 制御ケーブルが誤って交差接続されると、火災の危険があります。高電流の DC リード線とインターロック / 制御ケーブルが、LPS とプロジェクターとの間で正しく接続されていることを確認してください。この指示に従わない場合、火災が発生する危険があります。

10. 3 つの LPS ブレーカーをオンの位置にセットします。
11. プロジェクター AC レセプタクルの下のベースプレートにあるプロジェクターのブレーカーをオンの位置にセットします。

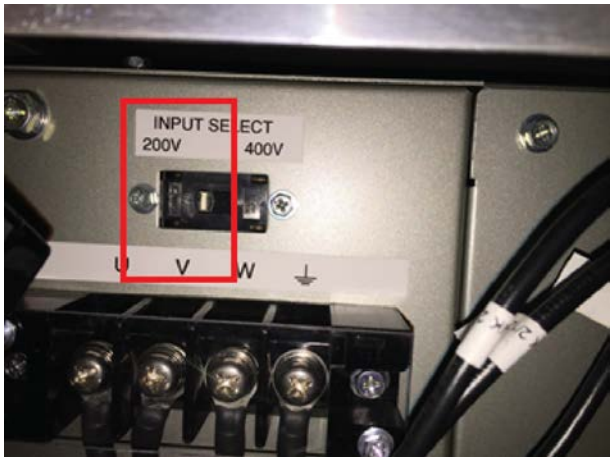
200 VAC での使用のためにバラスト設定を行う

1. LPS を電源から引き抜きます。
2. プラスドライバーを使用してフロントパネルを取り外します。
3. ターミナルブロックの最初の位置に給電ワイヤーハーネス（黒）を挿入します。



4. ねじを締めてハーネスを所定の位置に固定します。

   絶縁体ねじの下に挟まないようにしてください。
5. セレクタースイッチを **200 V** の位置に合わせます。

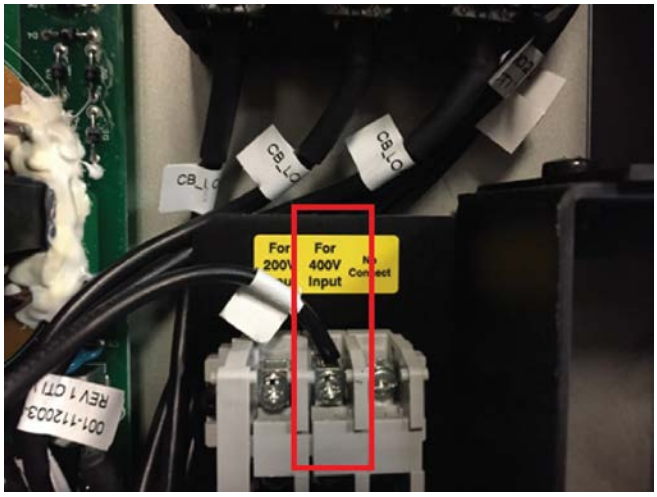


6. フロントパネルを取り付けます。

400 VAC での使用のためにバラスト設定を行う

1. LPS を電源から引き抜きます。
2. プラスドライバーを使用してフロントパネルを取り外します。

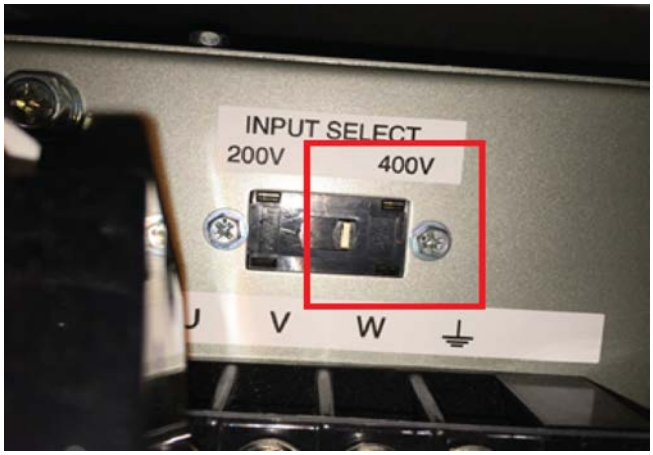
3. ターミナルブロックの 2 番目の位置に給電ワイヤーハーネス（黒）を挿入します。



4. ねじを締めてハーネスを所定の位置に固定します。

   絶縁体ねじの下に挟まないようにしてください。

5. セレクタースイッチを **400V** の位置に合わせます。



6. フロントパネルを取り付けます。

プロジェクトの傾斜および水平化の調整

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 本プロジェクターの脚を調整する前に、プロジェクターのリア・セーフティ・ストラップが接続されていることを確認します。
- 脚を過剰に延ばさないでください。プロジェクターが倒れないように、本プロジェクターのベースプレート内で適切な数のねじ山がかみ合っていることを確認してください。

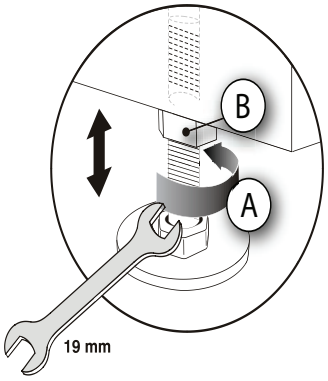
プロジェクターの傾きを調整して、最小のキーストーン操作でなるべく画面の広い部分をカバーできるようにします。レンズオフセットを使って、画像がスクリーンのセンターに揃えることができます。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

プロジェクターの前後チルト角は 15° 以内である必要があります。

1. プロジェクターの後部に、プロジェクターの重量が定格である安全リフティングストラップを固定します。
2. プロジェクターを吊り上げます。
3. プロジェクターの垂直または水平位置を調整するには、本プロジェクター底部に配置された各脚を延長または伸縮させます (A)。
4. 必要な調整を行ったら、プロジェクターの下部に対してロック ナットを固定します (B)。

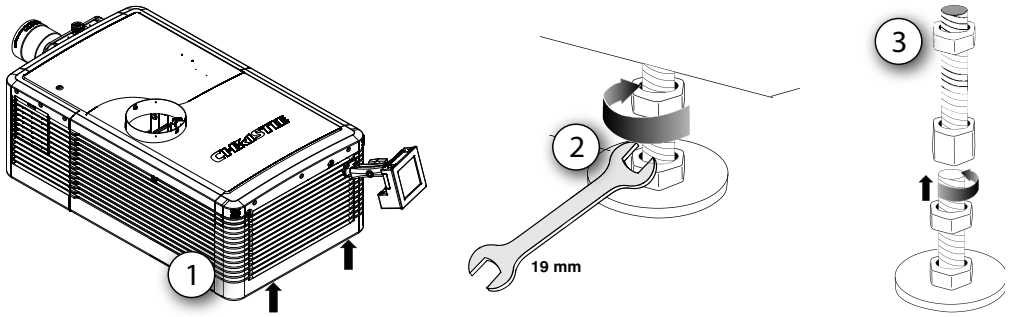
   プロジェクターは、フロントを 4 インチ、リアを 11.5 インチ調整することができます。
5. 標準的な脚の範囲を超えてプロジェクターの垂直または水平位置を調整する必要がある場合は、調整幅を増やすために 6 インチ延長棒を 2 本設置することが可能です。



調整脚延長棒の設置

1. プロジェクター後部を持ち上げて、2 本の後部調整脚の操作ができるようにします。
2. ロック ナットをゆるめ、脚を回してプロジェクターから取り外します。
3. 延長棒を標準調整脚に追加します。
4. 延長脚を本プロジェクターのベースプレートにねじ込みます。
5. 希望のチルトが得られるまで調整脚を調整します。

6. 本プロジェクターに対し各ロック ナットが動かなくなるまで回転させて調整脚を固定します。



タッチパネル コントローラを取り付ける

1. 取り付けアームをその端が本プロジェクターの後部パネルに位置するボール ジョイント上でちょうど合うだけ緩めます。

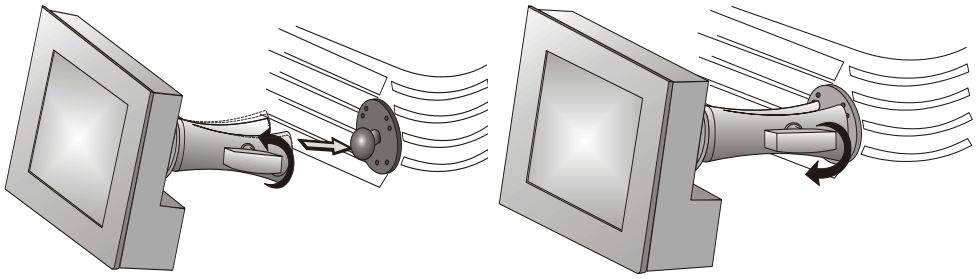
   取り付けアームのロックを緩めると、タッチ パネル コントローラ (TPC) が取り付けアームから緩みます。

2. ジョイント上でしっかり止まるまで取り付けアームを締めます。

   これで、TPC のセーフティ ストラップがプロジェクターのボール ジョイントに取り付けられます。

3. タッチ パネル コントローラ (TPC) からのケーブルをプロジェクター後部パネルのコネクタに接続します。

4. 最適に視聴できるように TPC 角度を調整してから、TPC が必要な場所で固定されるように、取り付けアームをしっかりロックします。



排気ダクトの接続

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

ランプが爆発した際、ダクトからのガラス破片の飛散を防止するため、最低でも約 25.4cm(10 インチ) 幅の強化金属製ダクトをプロジェクターおよび排気ダクトシステムの外側に接続してください。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

* 映写室の周囲温度が 25 ℃ を超えるか、標高 (海抜) 3000 フィートより高い場合には、600 CFM が必要です。

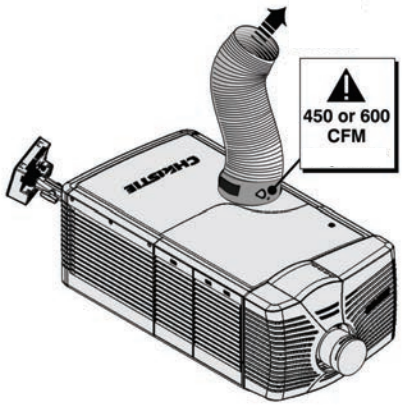
プロジェクター上部の直径 8 インチの排気ポートに既存の外部通気ダクトを接続してください。ダクトに折れ曲りや弊害物が無いこと、全ての空気取入れ口およびびダクト出口のベーン スイッチが弊害なく動くことを確かめてください。

使用場所の設置済みの排気ダクトは、プロジェクターに確実に固定してください。ダクトは、周囲温度 25 ℃（77°F）以下、標高 3,000 フィート（914.4 m）未満でプロジェクターを使用した場合に、450 CFM* 以上を維持するような排気ファン及びブロワー（プロジェクターの排気口で測定した場合）を装備している必要があります。

プロジェクターの CFM 値を確認するには、通気計を使用して、プロジェクターに接続されるほうのオープン排気ダクトの強化側におけるフィート / 分を測定します。プロジェクターが接続されていない側の端で計測して下さい。

この係数を利用してプロジェクターの CFM 値を求めて下さい。

$$CFM = 0.35 \times \text{Measured ft/min}$$



ランプ種類	要求最小エアフロー (CFM)
2.0 kW	450 CFM*
3.0 kW	450 CFM*
4.5 kW	600 CFM
6.0 kW	600 CFM

* 映写室の周囲温度が 25 ℃（77°F）を超えるか、標高 (海抜) 3,000 フィート（914.4 m）より高い場合には、600 CFM が必要です。

空気の流れが不十分な場合は抽出装置または昇圧機を追加して下さい。換気ファンをプロジェクターに取り付けると画像がぶれることがあるため、取り付けないでください。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

ベーン スイッチは絶対に無効化しないでください。空気流をモニターせずにプロジェクターを操作しようとすると、プロジェクターの危険なオーバーヒートに至る可能性があります。

プロジェクターがオーバーヒートしたり安全性が損なわれたりすることを防ぐため、ダクトが塞がれたりファンが誤動作したりした場合に警告音が鳴ります。Christie では、排気口が塞がれておらず、正常に動作することを定期的に確認するよう奨励しています。

プロジェクターシュラウドの取り外し

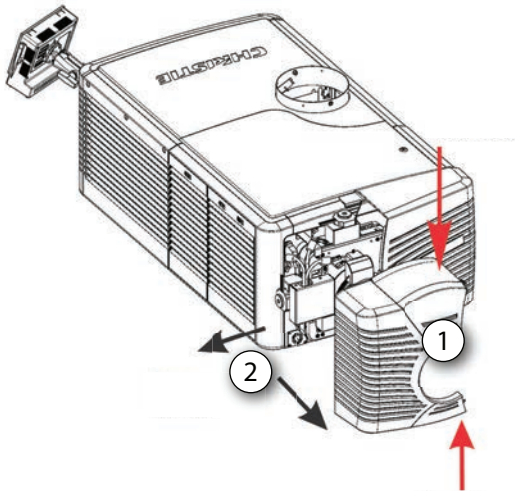
警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- シュラウドは、決して頭上には取り付けないでください。

レンズを操作する際は、レンズ側シュラウドを取り外す必要があります。AC 電源コードをプロジェクターの前面に接続する際には、もう一方のシュラウドも取り外す必要があります。

1. 指で直接、シュラウドクリップを押し下げます（矢印が示すシュラウドの上下位置）。

2. シュラウドを横方向へゆっくりスライドさせ、レンズマウントおよびレンズから前方に向け取り外します。引っかき傷を避けるため、シュラウドカバーは汚れのない表面に置きます。



レンズの設定

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。

- 指やその他体の部位をプロジェクターの動く部分に近づけないでください。モーターやファンは注意なく動き始める可能性があります。
- プロジェクターを調整する前に、長い髪は結び、アクセサリーやぶかぶかした衣服は身につけないでください。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

レンズは投影ヘッド部を密閉し、汚染物質が主要な電子部品領域に入るのを防ぎます。レンズが取り付けられていない状態では、絶対にプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターを設置または運搬する際は、レンズ プラグを使用してください。

1. プロジェクターシュラウドを取り外します。
2. レンズ固定レバーが UP の位置になっていることを確認します。
3. レンズにリヤ レンズ キャップがついている場合は取り外します。
4. レンズ マウントにレンズをスライドさせ、すべての接続を合わせます。

   レンズを交換する際は、必ず UP ラベルが上になるようにして、毎回ボアサイトの調整を一定にしてください。

5. レンズ ロック レバーでレンズを固定します (DOWN 側)。
6. レンズモーターを較正します。

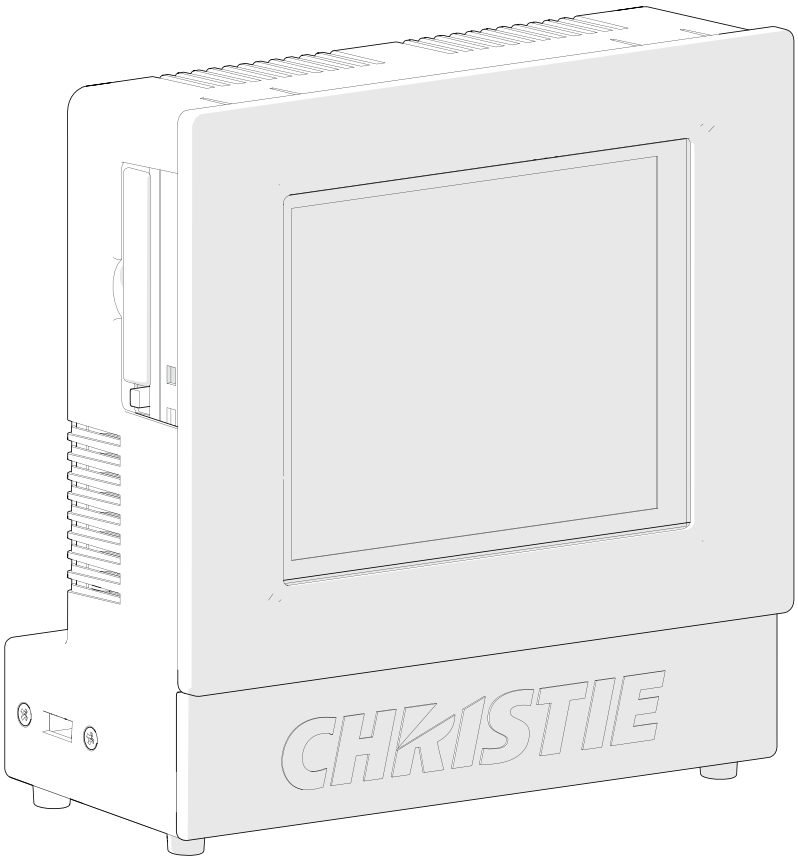
ランプの設定

電子制御のモーターセットを使って、ランプ位置はいつでも調整できます。リフレクターおよびインテグレーター ロッドに対してランプの最適な位置が存在し、それにより明るさを最大化することができます。このジオメトリは、LampLOC 較正プロセスを使ってソフトウェアにより制御されます。

タッチ パネル コントローラ

タッチ パネル コントローラ (TPC) は、タッチ センサー スクリーンです。TPC を使って、プロジェクターを制御したり、ソースを管理したりするほか、ディスプレイの調整やステータス情報の表示を実行します。TPC はプロジェクターの背部にあり、調整して TPC 視野角を向上させることができます。側方には USB ポートがあり、ログファイルをダウンロードしたりソフトウェア更新をインストールしたりする際に使用できます。

リモートアプリケーションでは、TPC をプロジェクターから切断して、オプションケーブルを使い最大 100 フィート（30m）離れた場所からプロジェクターを操作することが可能です。

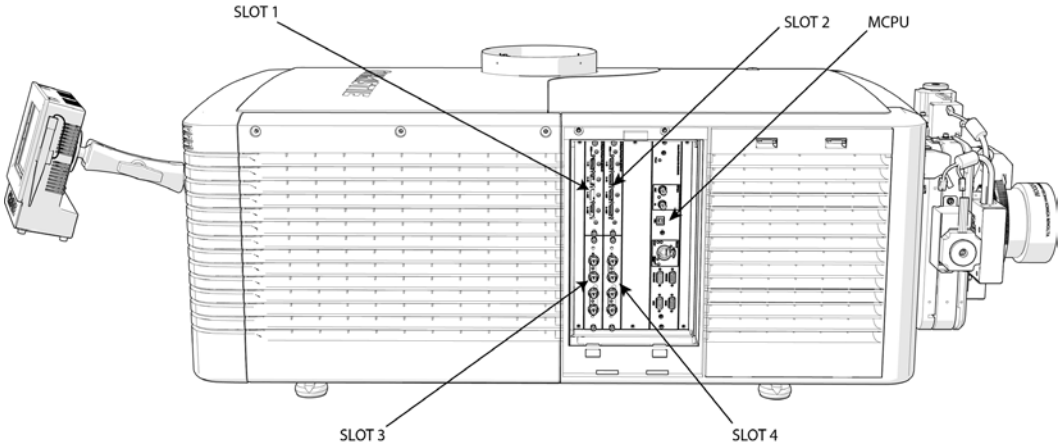


デバイスの接続

このセクションは、プロジェクターへの外部デバイスの接続に関する情報を提供します。

通信および入力ポートは、プロジェクター側の入力パネルにあり、入力パネル カバーを外すと操作できます。デバイスを接続する場合には、フレームの開口部を通して側面の入力パネルへケーブルを配線するか、直接ビデオオプションカードおよび MCPU へ接続します。次の図は、ビデオオプションカードのスロット番号および MCPU パネルを示しています。

入力信号デバイスはビデオオプションカードへ接続するので、一部のタイプの入力信号ではオプションカードのスロット番号が重要です。通信デバイスは MCPU パネルに接続します。



入力ビデオマッピング

ビデオ入力マッピングは、4 ポートまたは 2 ポート入力構成で使用するカードのタイプによります。

4 ポート :3GIC、TDPIC、THIC カード

以下の表は、3GIC、TDPIC、THIC 4 ポート入力構成のビデオ象限のマッピングを示しています。

4 ポート入力構成 —2 枚のカード (1)		象限	列
スロット 1	1-In	左上部	1 (左端)
スロット 1	2-In	左下部	2

スロット 2	1-In	右上部	3
スロット 2	2-In	右下部	4
4 ポート入力構成 —2 枚のカード (2)		象限	列
スロット 3	1-In	左上部	1 (左端)
スロット 3	2-In	左下部	2
スロット 4	1-In	右上部	3
スロット 4	2-In	右下部	4
4 ポート入力構成 —4 枚のカード (1)		象限	列
スロット 1	1-In	左上部	1 (左端)
スロット 2	1-In	右上部	2
スロット 3	1-In	左下部	3
スロット 4	1-In	右下部	4

4 ポート :DDIC カード

以下の表は、DDIC 4 ポート入力構成のビデオ象限のマッピングを示しています。

4 ポート入力構成		象限	列
スロット 1	1 つのデュアル リンク DVI-I	左上部	1 (左端)
スロット 2	1 つのデュアル リンク DVI-I	右上部	2
スロット 3	1 つのデュアル リンク DVI-I	左下部	3
スロット 4	1 つのデュアル リンク DVI-I	右下部	4

2 ポート :TDPIC カード

1 ポート入力構成 —2 枚のカード (2)		列
スロット 1	1-In	1 (左端)
スロット 2	1-In	2
2 ポート入力構成 —2 枚のカード (2)		列
スロット 3	1-In	1 (左端)
スロット 4	1-In	2

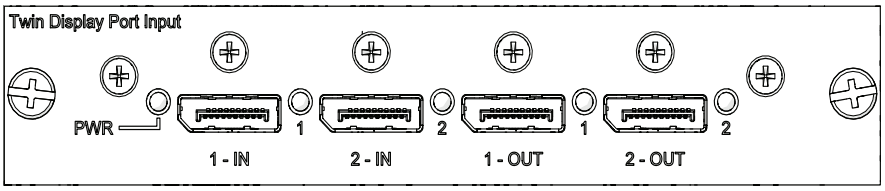
2 ポート :DDIC カード

2 ポート入力構成 —2 枚のカード (1)		列
スロット 1	1 つのデュアル リンク DVI-I	1 (左端)
スロット 2	1 つのデュアル リンク DVI-I	2
2 ポート入力構成 —2 枚のカード (2)		列
スロット 3	1 つのデュアル リンク DVI-I	1 (左端)
スロット 4	1 つのデュアル リンク DVI-I	2

DisplayPort を介したビデオ ソースの接続

ツイン DisplayPort 入力カード (TDPIC) は、DisplayPort ソースからのデジタルビデオデータを受信します。下記にリストされている入力構成がサポートされています。

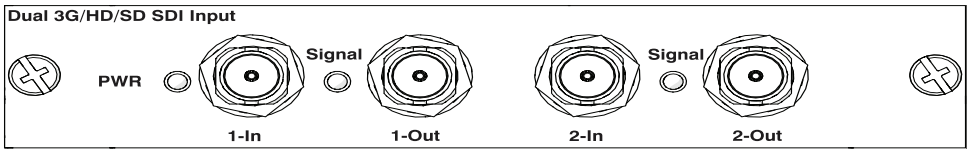
入力構成	説明	要件
4 ポート	4 本の DisplayPort ケーブルと 2 枚または 4 枚の TDPIC カードの接続を可能にします。各 DisplayPort 入力により、4K 入力画像の 1 つの象限または列が供給されます。この構成は、高解像度および高フレーム レートの入力ビデオストリームをサポートしています。	2 枚または 4 枚の TDPIC カード
2 ポート	2 本の DisplayPort ケーブルと 2 枚の TDPIC カードの接続を可能にします。各 DisplayPort 入力により、4K 入力画像の 2 つの列の 1 つが供給されます。	2 枚の TDPIC カード
1 ポート	1 本の DisplayPort ケーブルと TDPIC カード (任意のスロット) の 1-IN 入力の接続を可能にします。この構成では、DisplayPort 入力が全体のビデオラスタを供給します。	1 枚の TDPIC カード



3G 入力カードを使用するビデオソースの接続

3G 入力カード (3GIC) は、HD および 3G-SDI （シリアル デジタル インターフェース）ソースからデジタル ビデオデータを受信します。下記にリストされている入力構成がサポートされています。

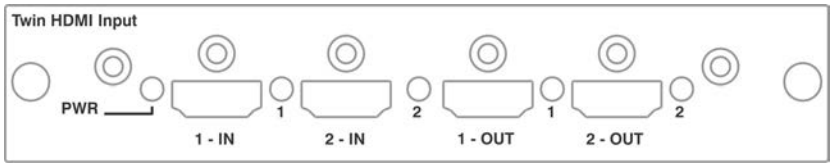
入力構成	説明	要件
4 ポート	4 本の SDI ケーブルと 2 枚の 3GIC カードの接続を可能にします。各 SDI 入力により、4K 入力画像の 1 つの象限または列が供給されます。この構成は、高解像度および高フレーム レートの入力ビデオストリームをサポートしています。	2 枚の 3GIC カード
1 ポート	1 本の SDI ケーブルと 2 枚の 3GIC カード (任意のスロット) の 1-IN 入力の接続を可能にします。この構成では、SDI 入力が全体のビデオラスタを供給します。	1 枚の 3GIC カード



HDMI を介したビデオ ソースの接続

ツイン HDMI 入力カード (THIC) は、HDMI ソースからのデジタルビデオデータを受信します。下記にリストされている入力構成がサポートされています。

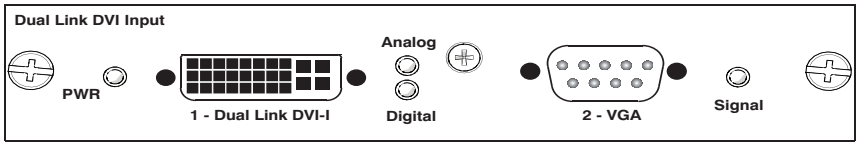
入力構成	説明	要件
4 ポート	4 本の HDMI ケーブルと 2 枚の THIC カードの接続を可能にします。各 HDMI 入力により、4K 入力画像の 1 つの象限または列が供給されます。この構成は、高解像度および高フレーム レートの入力ビデオストリームをサポートしています。	2 枚の THIC カード
1 ポート	1 本の HDMI ケーブルと THIC カード (任意のスロット) の 1-IN 入力の接続を可能にします。この構成では、HDMI 入力が全体のビデオラスタを供給します。	1 枚の THIC カード



DVI を介したビデオ ソースの接続

デュアルリンク DVI 入力カード (DDIC) は、DVI ソースからのデジタルビデオデータを受信します。入力アナログ信号はサポートしていません。下記にリストされている入力構成がサポートされています。

入力構成	説明	要件
4 ポート	4 本の DVI ケーブルと 4 枚の DDIC カードの接続を可能にします。各 DVI 入力により、4K 入力画像の 1 つの象限または列が供給されます。この構成は、高解像度および高フレーム レートの入力ビデオストリームをサポートしています。	4 枚の DDIC カード
2 ポート	2 本の DVI ケーブルと 2 枚の DDIC カードの接続を可能にします。各 DVI 入力により、4K 入力画像の 2 つの列の 1 つが供給されます。	2 枚の DDIC カード
1 ポート	1 本の DVI ケーブルと DDIC カード (任意のスロット) の DVI 入力の接続を可能にします。この構成では、DVI 入力が全体のビデオラスタを供給します。	1 枚の DDIC カード



単一ソースの選択

ビデオソースをプロジェクターに接続した後、タッチ パネル コントローラ (TPC) を使用して、選択する必要があります。

1. TPC で、**[Input] (入力) > [Channel] (チャンネル)** と選択します。
2. 構成に最適なチャンネルが見つかるまで、チャンネルのリストをスクロールします。
3. チャンネルをタップします。

   スクリーンに画像が表示されます。スクリーンに画像が表示されない場合は、ステップ 1 から 3 を繰り返して、別のチャンネルを選択してください。

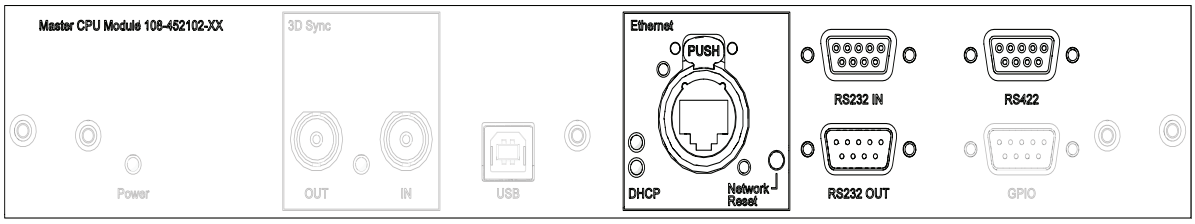
コンピューターまたはサーバーの接続

リモート コンピュータ、サーバーまたは既存のネットワークと通信するには、RJ-45 ケーブルを使って、イーサネット ハブもしくはスイッチをプロジェクターの MCPU フェースプレートにあるイーサネット ポートに接続します。イーサネット上で Christie シリアル プロトコルを使用する場合は、ポート 3002 に接続します。

シリアル通信を利用したアプリケーションまたは装置の場合は、Christie 固有のシリアル プロトコルを使って、MCPU フェースプレート上の RS422 ポート、または RS232 ポートと通信します。

メモ。以下の指示に従わない場合、物的損害の原因となることがあります。

MCPU フェイスプレート上にある RS232 ポートでは、Christie 固有のプロトコルが使用されていますが、これは Christie 付属品または自動コントローラのみを対象としたものです。シリアル コマンドに関する詳細は、D4K-60 シリアル API コマンド テクニカルリファレンス (P/N:020-101258-XX) を参照してください。



イーサネットの設定

イーサネットをセットアップして、ネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合に自動で IP アドレスを取得するようにします。IP 設定を変更する、または手動でアドレスを入力するには :

1. タッチ パネル コントローラで、**[Menu] (メニュー)** > **[Configuration] (設定)** > **[Ethernet Settings] (イーサネット設定)** > **[Modify IP Settings] (IP 設定の変更)** の順にタップします。
2. プロジェクターのネットワーク情報を設定します。
   - ネットワークから自動で情報を取得するには、**[Automatic]（自動）**をタップします。
   - ネットワーク情報を手動で入力するには、**[Manual]（手動）**をタップし、**[IP Address]（IP アドレス）**、**[Subnet Mask]（サブネット マスク）**および **[Gateway]（ゲートウェイ）**（オプション）を入力します。
3. **[OK]** をクリックします。

D4K3560 信号接続

入力構成	入力フォーマット	フレーム レート (Hz)	インターフェース	カード	ケーブル	RGB/4:4:4 8 ビット	RGB/4:4:4 10 ビット	RGB/4:4:4 12 ビット	4:2:2 8 ビット	4:2:2 10 ビット	4:2:2 12 ビット
4 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DisplayPort 1.1a	2x TDPIC	4	X	X		X	X	X
2 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DisplayPort 1.1a	2x TDPIC	2	X	X				
4 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	HDMI 1.4a	2x THIC	4	X	X	X	X	X	X
4 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	3G-SDI	2x3GIC	4					X	
2 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DVI (デュアル)	2xDDIC	2	X					
4 ポート	4K、QHD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DVI (シングル)	4x DDIC	4	X					
2 ポート	4K、QHD	24, 25, 30	DVI (シングル)	2xDDIC	2	X					
1 ポート	2K、HD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DisplayPort 1.1a	1x TDPIC	1	X	X		X	X	X
1 ポート	2K、HD	24, 25, 30, 48, 50, 60	HDMI 1.4a	1x THIC	1	X	X	X	X	X	X
1 ポート	2K、HD	24, 25, 30	3G-SDI	1x 3GIC	1	X	X	X	X	X	X
1 ポート	2K、HD	48, 50, 60	3G-SDI	1x 3GIC	1					X	
1 ポート	2K、HD	24, 25, 30, 48, 50, 60	DVI (シングル)	1x DDIC	1	X					

操作

このセクションはプロジェクターのオンおよびオフに関する情報や手順を提供します。

プロジェクター LED ステータス インジケータ

LED	ステート	説明
緑色で連続点灯	オン	ビデオのエレクトロニクスがオンで、ランプがオン。
黄色で連続点灯	スタンバイ モード	ビデオのエレクトロニクスがオフ、ランプがオフ。
緑色、黄色、および赤色の連続点灯	AC がオン	MCPU ボード ソフトウェアは、初期化を開始していない。
緑色で点滅する	ウォーム アップ	ビデオのエレクトロニクスは初期化中で、ランプは点灯、ウォームアップ中。
黄色で点滅	冷却	ランプはオフで、ビデオのエレクトロニクスおよびランプは冷却中。
赤色で点滅	アラームまたは警告プリセット	プロジェクターの問題を解決する必要がある。
緑色および黄色の点滅	AC がオンでスタンバイ	MCPU ボード ソフトウェアは、初期化を開始しました。

プロジェクターをオンにする

警告！以下の指示に従わない場合、死亡事故や重傷に至る場合があります。
AC 電源が指定の電圧範囲外の場合、プロジェクターの電源の起動を試みないで下さい。

1. ランプ電源のブレーカー スイッチはすべてオンの位置にセットします。
2. プロジェクター ベースプレートのブレーカー スイッチを、オンの位置にセットします。
3. プロジェクターがスタンバイになったらタッチパネルコントローラーで、**[Home]**（ホーム）> **[Power]**（電源）の順でタップします。

電源投入時に予想される LED の動作

以下の表は、プロジェクター LED および MCPU ボードの電源 LED の電源投入時に予想される動作を示しています。

アクション / イベント	プロジェクター LED	MCPU ボード電源 LED
プロジェクター ヘッドの AC 電源投入	赤色で連続点灯 緑色で連続点灯 黄色で連続点灯	黄色
最初の 1 秒以内	赤色で連続点灯 緑色で連続点灯 黄色で連続点灯	緑色点滅
約 30 秒	オフ 赤色 黄色点滅 緑色点滅	緑色点滅
約 50 秒	オフ / 赤色点滅 黄色で連続点灯 オフ 緑色	緑色で連続点灯

約 1 分と 15 秒で、TPC は接続完了を示し、ホームページを表示します。

プロジェクターをオフにする

1. タッチ パネル コントローラで、**[Home]**（ホーム）をタップします。
2. **[Power]**（電源）をタップします。

点検またはメンテナンスの準備のために電源を切る場合は、必ず AC とランプ電源ブレーカーをオフの位置にセットしてください。

Corporate offices

USA – Cypress
ph: 714-236-8610

Canada – Kitchener
ph: 519-744-8005

Consultant offices

Italy
ph: +39 (0) 2 9902 1161

Worldwide offices

Australia
ph: +61 (0) 7 3624 4888

Brazil
ph: +55 (11) 2548 4753

China (Beijing)
ph: +86 10 6561 0240

China (Shanghai)
ph: +86 21 6278 7708

Eastern Europe and
Russian Federation
ph: +36 (0) 1 47 48 100

France
ph: +33 (0) 1 41 21 44 04

Germany
ph: +49 2161 664540

India
ph: +91 (080) 6708 9999

Japan (Tokyo)
ph: 81 3 3599 7481

Korea (Seoul)
ph: +82 2 702 1601

Republic of South Africa
ph: +27 (0)11 510 0094

Singapore
ph: +65 6877-8737

Spain
ph: +34 91 633 9990

United Arab Emirates
ph: +971 4 3206688

United Kingdom
ph: +44 (0) 118 977 8000

For the most current technical documentation, please visit www.christiedigital.com

CHRISTIE®